

# 高3数学α 数学Ⅲスタ演 17.接線・法線

## 1 [2012 筑波大]

曲線  $C: y = \frac{1}{x+2}$  ( $x > -2$ ) を考える。曲線  $C$  上の点  $P_1\left(0, \frac{1}{2}\right)$  における接線を  $\ell_1$  とし、 $\ell_1$  と  $x$  軸との交点を  $Q_1$ 、点  $Q_1$  を通り  $x$  軸と垂直な直線と曲線  $C$  との交点を  $P_2$  とおく。以下同様に、自然数  $n$  ( $n \geq 2$ ) に対して、点  $P_n$  における接線を  $\ell_n$  とし、 $\ell_n$  と  $x$  軸との交点を  $Q_n$ 、点  $Q_n$  を通り  $x$  軸と垂直な直線と曲線  $C$  との交点を  $P_{n+1}$  とおく。

- (1)  $\ell_1$  の方程式を求めよ。
- (2)  $P_n$  の  $x$  座標を  $x_n$  ( $n \geq 1$ ) とする。 $x_{n+1}$  を  $x_n$  を用いて表し、 $x_n$  を  $n$  を用いて表せ。
- (3)  $\ell_n$ ,  $x$  軸,  $y$  軸で囲まれる三角形の面積  $S_n$  を求め、 $\lim_{n \rightarrow \infty} S_n$  を求めよ。

## 2 [2001 関西大]

$a$  を正の定数とし、曲線  $y = ae^{-\frac{x}{2}}$  を  $C$  とする。 $l$  は原点  $O$  を通る直線で、 $C$  との交点を  $P$  とするとき、 $P$  の  $x$  座標は正であり、また、 $l$  は点  $P$  における  $C$  の接線と垂直に交わるとする。

- (1) このような直線  $l$  が引けるために  $a$  がとりうる値の範囲を求めよ。また、このとき、点  $P$  の座標を  $a$  を用いて表せ。
- (2) 点  $P$  における  $C$  の接線が  $x$  軸と交わる点を  $Q$  とする。 $a$  が (1) で求めた範囲を動くとき、 $\triangle POQ$  の面積の最小値と、そのときの  $a$  の値を求めよ。

## 3 [2003 立命館大]

$0 < p < q$  とし、曲線  $C: y = \log x$  上に 2 点  $P(p, \log p)$ ,  $Q(q, \log q)$  をとる。点  $P$  における曲線  $C$  の法線 ( $P$  を通り、曲線  $C$  の  $P$  における接線に垂直な直線) の方程式は  $y = \text{ア} \boxed{\phantom{00}}$  である。点  $Q$  における曲線  $C$  の法線を同様に求めると、2 つの法線の交点  $R$  の  $x$  座標は  $\text{イ} \boxed{\phantom{00}}$  となる。 $q$  が  $p$  と異なる値をとりながら  $p$  に限りなく近づくとき、点  $R$  の  $x$  座標は  $\text{ウ} \boxed{\phantom{00}}$  に、 $y$  座標は  $\text{エ} \boxed{\phantom{00}}$  に限りなく近づく。

## 4 [2008 信州大]

曲線  $K: y = \cos 2x$   $\left(-\frac{\pi}{4} \leq x \leq \frac{\pi}{4}\right)$  と  $y$  軸との交点を  $P$  とし、曲線  $K$  上に点  $P$  と異なる点  $Q(t, \cos 2t)$  をとる。線分  $PQ$  の垂直二等分線  $\ell$  が  $y$  軸と交わる点を  $R$  とする。

- (1) 点  $R$  の  $y$  座標を  $t$  を用いて表せ。
- (2) 2 点  $P, Q$  を通り、点  $P$  で曲線  $K$  と共通な接線をもつ円を  $C$  とする。点  $Q$  が点  $P$  に限りなく近づくとき、円  $C$  の半径  $r$  はどのような値に近づくか。

## 高3数学α 数学Ⅲスタ演 17.接線・法線

---

5 [2014 鹿児島大]

$\theta$  を媒介変数として、 $\begin{cases} x = \theta - \sin \theta \\ y = 1 - \cos \theta \end{cases}$  で表される曲線の  $\theta = \frac{\pi}{2}$  に対応する点における接線の方程式を求めよ。

6 [2017 関西大]

媒介変数表示  $x = \frac{3}{\cos \theta}$ ,  $y = 2 \tan \theta$  で表された曲線上の点  $(6, 2\sqrt{3})$  における接線の方程式は  $y = \boxed{\phantom{000}}x - \boxed{\phantom{000}}$  である。

7 [2004 弘前大]

$k > 0$  とする。  $f(x) = -(x-a)^2$ ,  $g(x) = \log kx$  のとき、曲線  $y = f(x)$  と曲線  $y = g(x)$  の共有点を P とする。この点 P において曲線  $y = f(x)$  の接線と曲線  $y = g(x)$  の接線が直交するとき、 $a$  と  $k$  の関係式を求めよ。ただし、対数は自然対数とする。

8 [2006 工学院大]

曲線  $C_1: y = 2\cos x \left(0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}\right)$  と曲線  $C_2: y = \cos 2x + k \left(0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}\right)$  が共有点 P で共通の接線  $\ell$  をもつ。ただし、 $k$  は定数であり、点 P の  $x$  座標は正とする。 $k$  の値と接線  $\ell$  の方程式を求めよ。